

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x (Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチ) リリースノート

初版 : 2021 年 4 月 1 日

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x (Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチ) リリースノート

はじめに

Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチは、エントリレベルのエンタープライズクラス アクセススイッチであり、インテントベース ネットワーキングと Cisco Catalyst 9000 シリーズスイッチのハードウェアおよびソフトウェアのイノベーションの力をさまざまな導入環境に拡張できます。これらのスイッチは、中規模展開とシンプルなブランチ展開向けの機能を提供することに重点を置いています。Cisco Catalyst 9000 ファミリから発展した Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチは、安全で常時利用可能な妥協のないシンプルさを備え、新しいレベルの IT の使いやすさを提供します。

このプラットフォームは、Cisco Digital Network Architecture の基盤となる構成要素として、セキュリティ、モビリティ、クラウド、IoT を重視して設計されています。これにより、インテントベースのネットワーキングへの取り組みがどの段階にあっても、最新のセキュリティ、復元力、プログラマビリティをすぐに備えることができます。

このプラットフォームでは、trustworthy ソリューション、MACsec 暗号化、セグメンテーションを基盤とするシスコのクラス最高水準のセキュリティポートフォリオにより、ハードウェアだけでなく、ソフトウェア、およびスイッチとネットワークを流れるすべてのデータの整合性を保護する高度なセキュリティ機能を実現できます。これらのスイッチは、フィールド交換可能な電源とファン、モジュラアップリンク、コールドパッチ、無停止型 PoE、および業界最高レベルの平均故障間隔 (MTBF) により、エンタープライズレベルの復元力を備え、ビジネスの継続性とシームレスな運用を実現します。フル Flexible NetFlow のアプリケーションの可視性とテレメトリ、および Cisco IOS XE のオープン API と UADP ASIC 技術のプログラマビリティが結合されたこれらのスイッチにより、シンプルで最適なネットワークのプロビジョニングと管理が実現し、将来のイノベーションに対する投資を保護できます。

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 の新機能

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 のハードウェア機能

機能名	説明とドキュメントのリンク
Cisco 40GBASE QSFP モジュール	サポート対象トランシーバモジュールの製品番号：QSFP-40G-LR4 モジュールについては、『 Cisco 40GBASE QSFP Modules Data Sheet 』を参照してください。デバイスの互換性については、『 Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix 』を参照してください。

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 のソフトウェア機能

機能名	説明、ドキュメントリンク、ライセンスレベル情報
USB ポートの無効化	platform usb disable コマンドを使用して、スタンドアロンデバイスまたはスタックデバイスのすべての USB ポートを無効にできます。
RADIUS サーバでの DSCP マーキング	dscp コマンドを使用して、RADIUS サーバおよび RADIUS サーバグループで DiffServ コードポイント (DSCP) マーキングを設定できます。 radius-server dscp コマンドは、グローバルコンフィギュレーションモードで RADIUS サーバの認証およびアカウントングのために DSCP マーキングを設定するために使用します。
ネットワークの検出と対応	脅威検出のサポートを導入し、Cisco Secure Network Analytics (別名 Stealthwatch Cloud) を使用してネットワークのセグメンテーションと共に脅威への対応を迅速化します。
プログラマビリティ <ul style="list-style-type: none"> • YANG データ モデル 	このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • YANG データモデル：このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1751 を参照してください。 <p>YANG ファイルに埋め込まれているリビジョンステートメントは、モデルのリビジョンがあるかどうかを示します。同じ GitHub の場所にある README.md ファイルに、このリリースに加えられた変更がまとめられています。</p>

機能名	説明、ドキュメントリンク、ライセンスレベル情報
セッションタイマー拡張	再認証の試行間隔の範囲（秒数）が 1 ～ 65535 秒から 1 ～ 1073741823 秒に増加しました。
有線ダイナミック PVLAN	プライベート VLAN を使用してクライアントを隔離し、ゼロトラストを提供する Wired Dynamic Private VLAN (PVLAN) のサポートを導入しました。この機能を使用すると、サブネットまたは VLAN 内のピアツーピア通信をブロックできます。クライアントは、ポートに接続された単一の有線クライアントを他のポートから分離する PVLAN に割り当てられます。
Web UI の新機能	
このリリースの Web UI には新機能はありません。	

特記事項

- [サポートされない機能 \(3 ページ\)](#)
- [サポートされる機能の全リスト \(4 ページ\)](#)
- [隠しコマンドへのアクセス \(4 ページ\)](#)

サポートされない機能

- オーディオ ビデオブリッジング (IEEE802.1AS、IEEE 802.1Qat、および IEEE 802.1Qav を含む)
- Border Gateway Protocol (BGP)
- Cisco StackWise Virtual
- Cisco TrustSec ネットワーク デバイス アドミッション コントロール (NDAC) (アップリンク)
- ブランチ展開のための統合アクセス
- ファブリック対応ワイヤレス (C9200L SKU)
- ゲートウェイ ロード バランシング プロトコル (GLBP)
- ホットパッチ (SMU 用)
- MACSec 暗号化
 - EtherChannel の MACsec 設定

- MACsec Key Agreement (MKA) による 256 ビットの AES MACsec (IEEE 802.1AE) ホストリンク暗号化
- マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)
- ノンストップ フォワーディング (NSF)
- パフォーマンスモニタリング (PerfMon)
- トランクおよびポートチャネル上のプライベート VLAN (PVLAN)
- プログラマビリティ (OpenFlow 用 Cisco プラグイン 1.3、サードパーティ製アプリケーションのホスティング)
- 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 対応 Web 認証
- Web Cache Communication Protocol (WCCP)

サポートされる機能の全リスト

プラットフォームでサポートされている機能の完全なリストについては、<https://cfmng.cisco.com> で Cisco Feature Navigator を参照してください。

隠しコマンドへのアクセス

ここでは、Cisco IOS XE の隠しコマンドとアクセスする際のセキュリティ対策について説明します。これらのコマンドは、Cisco TAC による高度なトラブルシューティングでの使用のみを目的としており、文書化されていません。

使用できる隠しコマンドは次のように分類されます。

- カテゴリ 1：特権 EXEC モードまたはユーザ EXEC モードの隠しコマンド。これらのコマンドにアクセスするには、最初に **service internal** コマンドを入力します。
- カテゴリ 2：いずれかのコンフィギュレーションモード（グローバルやインターフェイスなど）の隠しコマンド。これらのコマンドについては、**service internal** コマンドは必要ありません。

さらに、カテゴリ 1 および 2 の隠しコマンドには以下が適用されます。

- コマンドの CLI ヘルプがあります。システムプロンプトで疑問符 (?) を入力すると、使用できるコマンドの一覧が表示されます。
注：カテゴリ 1 では、疑問符を入力する前に **service internal** コマンドを入力します。これは、カテゴリ 2 では必要ありません。
- 隠しコマンドを使用すると、%PARSER-5-HIDDEN syslog メッセージが生成されます。次に例を示します。

```
*Feb 14 10:44:37.917: %PARSER-5-HIDDEN: Warning!!! 'show processes memory old-header' is a hidden command.
Use of this command is not recommended/supported and will be removed in future.
```

カテゴリ 1 および 2 以外の内部コマンドは CLI に表示されます。それらのコマンドについては、%PARSER-5-HIDDEN syslog メッセージは生成されません。



重要 隠しコマンドは TAC からの指示の下でのみ使用することを推奨します。

隠しコマンドの使用が見つかった場合は、TAC ケースを開き、隠しコマンドと同じ情報を収集する別の方法 (EXEC モードの隠しコマンドの場合)、隠しコマンド以外を使用して同じ機能を設定する方法 (コンフィギュレーションモードの隠しコマンドの場合) を探してください。

サポート対象ハードウェア

Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチ : モデル番号

次の表に、サポートされているハードウェアモデルと、それらのモデルに提供されるデフォルトのライセンスレベルを示します。使用可能なライセンスレベルの詳細については、「ライセンス レベル」のセクションを参照してください。

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル ¹	説明
C9200-24T-A	Network Advantage	スタック型 24x1G ポート、4x1G および 4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、現場交換可能なファン 2 つ、StackWise-160 をサポート。
C9200-24T-E	Network Essentials	
C9200-24P-A	Network Advantage	スタック型 24x1G PoE+ ポート、4x1G および 4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、現場交換可能なファン 2 つ、StackWise-160 をサポート。
C9200-24P-E	Network Essentials	
C9200-24PB-A	Network Advantage	スタック型 24x1G PoE+ ポート、4x1G および 4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、現場交換可能なファン 2 つ、StackWise-160 をサポート。
C9200-48T-A	Network Advantage	スタック型 48x1G ポート、4x1G および 4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、現場交換可能なファン 2 つ、StackWise-160 をサポート。
C9200-48T-E	Network Essentials	
C9200-48P-A	Network Advantage	スタック型 48x1G PoE+ ポート、4x1G および 4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、現場交換可能なファン 2 つ、StackWise-160 をサポート。
C9200-48P-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル ¹	説明
C9200-48PL-A	Network Advantage	PoEを部分的にサポートするスタック型48x1G PoE+ ポート、アップリンクポート用4x1G および4x10G ネットワークモジュール、電源スロット2つ、現場交換可能なファン2つ、StackWise-160をサポート。
C9200-48PL-E	Network Essentials	
C9200-48PB-A	Network Advantage	スタック型48x1G PoE+ ポート、4x1G および4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、現場交換可能なファン2つ、StackWise-160をサポート。
C9200-24PXG-E	Network Essentials	スタック型8 マルチギガビット イーサネット および16x1G PoE+ ポート、4x10G、2x25G、および2x40G ネットワークモジュール（アップリンクポート用）をサポート、電源スロット2つ、現場交換可能なファン2つ、StackWise-160をサポート。
C9200-24PXG-A	Network Advantage	
C9200-48PXG-E	Network Essentials	スタック型8 マルチギガビット イーサネット および40x1G PoE+ ポート、4x10G、2x25G、および2x40G ネットワークモジュール（アップリンクポート用）をサポート、電源スロット2つ、現場交換可能なファン2つ、StackWise-160をサポート。
C9200-48PXG-A	Network Advantage	
C9200L-24P-4G-A	Network Advantage	スタック型24x1G PoE+ ポート、4x1G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、固定ファン2つ、StackWise-80をサポート。
C9200L-24P-4G-E	Network Essentials	
C9200L-24P-4X-A	Network Advantage	スタック型24x1G PoE+ ポート、4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、固定ファン2つ、StackWise-80をサポート。
C9200L-24P-4X-E	Network Essentials	
C9200L-24T-4G-A	Network Advantage	スタック型24x1G ポート、4x1G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、固定ファン2つ、StackWise-80をサポート。
C9200L-24T-4G-E	Network Essentials	
C9200L-24T-4X-A	Network Advantage	スタック型24x1G ポート、4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、固定ファン2つ、StackWise-80をサポート。
C9200L-24T-4X-E	Network Essentials	
C9200L-48P-4G-A	Network Advantage	スタック型48x1G PoE+ ポート、4x1G 固定アップリンク ポート、電源スロット2つ、固定ファン2つ、StackWise-80をサポート。
C9200L-48P-4G-E	Network Essentials	

スイッチ モデル	デフォルトのライセンスレベル ¹	説明
C9200L-48P-4X-A	Network Advantage	スタック型 48x1G PoE+ ポート、4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート。
C9200L-48P-4X-E	Network Essentials	
C9200L-48PL-4G-A	Network Advantage	PoE を部分的にサポートするスタック型 48x1G PoE+ ポート、4x1G SFP 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート。
C9200L-48PL-4G-E	Network Essentials	
C9200L-48PL-4X-A	Network Advantage	PoE を部分的にサポートするスタック型 48x1G PoE+ ポート、4x10G SFP 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート。
C9200L-48PL-4X-E	Network Essentials	
C9200L-48T-4G-A	Network Advantage	スタック型 48x1G ポート、4x1G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート。
C9200L-48T-4G-E	Network Essentials	
C9200L-48T-4X-A	Network Advantage	スタック型 48x1G ポート、4x10G 固定アップリンク ポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート。
C9200L-48T-4X-E	Network Essentials	
C9200L-24PXG-4X-A	Network Advantage	スタック型 8 マルチギガビットイーサネット PoE+ ポートおよび 16x1G PoE+ ポート、4x10G 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート
C9200L-24PXG-4X-E	Network Essentials	
C9200L-24PXG-2Y-A	Network Advantage	スタック型 8 マルチギガビットイーサネット PoE+ ポートおよび 16x1G PoE+ ポート、2x25G 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート
C9200L-24PXG-2Y-E	Network Essentials	
C9200L-48PXG-4X-A	Network Advantage	スタック型 12 マルチギガビットイーサネット PoE+ ポートおよび 36x1G PoE+ ポート、4x10G 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート
C9200L-48PXG-4X-E	Network Essentials	
C9200L-48PXG-2Y-A	Network Advantage	スタック型 8 マルチギガビットイーサネット PoE+ ポートおよび 40x1G PoE+ ポート、2x25G 固定アップリンクポート、電源スロット 2 つ、固定ファン 2 つ、StackWise-80 をサポート
C9200L-48PXG-2Y-E	Network Essentials	

¹ 注文可能なアドオンライセンスの詳細については、[表 1: 許可されている組み合わせ \(25 ページ\)](#) を参照してください。

ネットワーク モジュール

次の表に、1 GigabitEthernet および 10 GigabitEthernet のスロットを備えた、オプションのアップリンク ネットワーク モジュールを示します。スイッチは、必ずネットワークモジュールまたはブランクモジュールのいずれかを取り付けて運用する必要があります。

ネットワークモジュール	説明
C9200-NM-4G ¹	4 つの 1 GigabitEthernet SFP モジュールスロット
C9200-NM-4X ¹	4 つの 10 GigabitEthernet SFP モジュールスロット
C9200-NM-2Y ²	2 つの 25 GigabitEthernet SFP28 モジュールスロット
C9200-NM-2Q ²	各スロットに QSFP + コネクタを備えた 2 つの 40 GigabitEthernet スロット



(注) これらのネットワークモジュールは、Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチの C9200 SKU でのみサポートされています。

光モジュール

Cisco Catalyst シリーズスイッチではさまざまな光モジュールがサポートされており、サポートされる光モジュールのリストは定期的に更新されています。最新のトランシーバモジュールの互換性情報については、[Transceiver Module Group \(TMG\) Compatibility Matrix](https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html) ツールを使用するか、次の URL にある表を参照してください。 https://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html

互換性マトリクス

次の表に、ソフトウェア互換性情報を示します。

CATALYST 9200	Cisco Identity Services Engine	Cisco Prisma Infrastructure
Bengaluru 17.4.1	3.0 2.7 パッチ 2	C9200 および C9200L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.8 」 → 「ダウンロード」を参照してください。

CATALYST 9200	Cisco Identity Services Engine	Cisco Pprime Infrastructure
Amsterdam 17.3.3	2.7	C9200 および C9200L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.9 」 → 「 ダウンロード 」を参照してください。
Amsterdam 17.3.2a	2.7	C9200 および C9200L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.8 」 → 「 ダウンロード 」を参照してください。
Amsterdam 17.3.1	2.7	C9200 および C9200L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.8 」 → 「 ダウンロード 」を参照してください。
Amsterdam 17.2.1	2.7	C9200 および C9200L : PI 3.7 + PI 3.7 最新のメンテナンスリリース + PI 3.7 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.7 」 → 「 Downloads 」を参照してください。
Amsterdam 17.1.1	2.7	C9200 および C9200L : PI 3.6 + PI 3.6 最新のメンテナンスリリース + PI 3.6 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.6 」 → 「 Downloads 」を参照してください。
Gibraltar 16.12.5b	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.9 」 → 「 Downloads 」を参照してください。
Gibraltar 16.12.5	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.9 」 → 「 Downloads 」を参照してください。

CATALYST 9200	Cisco Identity Services Engine	Cisco Prime Infrastructure
Gibraltar 16.12.4	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.8 + PI 3.8 最新のメンテナンスリリース + PI 3.8 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.8 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.3a	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.5 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.3	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.5 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.2	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.5 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.12.1	2.6	C9200 および C9200L : PI 3.5 + PI 3.5 最新のメンテナンスリリース + PI 3.5 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.5 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.11.1	2.6 2.4 パッチ 5	C9200 および C9200L : PI 3.4 + PI 3.4 最新のメンテナンスリリース + PI 3.4 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。
Gibraltar 16.10.1	2.4	C9200 : PI 3.4 + デバイスパック 9 C9200L : PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。

CATALYST 9200	Cisco Identity Services Engine	Cisco Pprime Infrastructure
Fuji 16.9.7	2.5 2.1	PI 3.9 + PI 3.9 最新のメンテナンスリリース + PI 3.9 最新のデバイスパック 「 Cisco Prime Infrastructure 3.9 」 → 「ダウンロード」を参照してください。
Fuji 16.9.6	2.4	PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.5	2.4	PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.4	2.4	PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.3	2.4	PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。
Fuji 16.9.2 ²	2.4	PI 3.4 + デバイスパック 7 「 Cisco Prime Infrastructure 3.4 」 → 「Downloads」を参照してください。

² Fuji 16.9.2 の互換性情報は C9200L SKU にのみ適用されます。

Web UI のシステム要件

次のサブセクションには、Web UI へのアクセスに必要なハードウェアとソフトウェアがリストされています。

最小ハードウェア要件

プロセッサ速度	DRAM	色数	解像度	フォントサイズ
233 MHz 以上 ³	512 MB ⁴	256	1280 x 800 以上	小

³ 1 GHz を推奨

⁴ 1 GB DRAM を推奨

ソフトウェア要件

オペレーティング システム

- Windows 10 以降
- Mac OS X 10.9.5 以降

ブラウザ

- Google Chrome : バージョン 59 以降 (Windows および Mac)
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox : バージョン 54 以降 (Windows および Mac)
- Safari : バージョン 10 以降 (Mac)

スイッチ ソフトウェアのアップグレード

このセクションでは、デバイスソフトウェアのアップグレードとダウングレードに関するさまざまな側面について説明します。



-
- (注) Web UI を使用してデバイスソフトウェアをインストール、アップグレード、ダウングレードすることはできません。
-

ソフトウェア バージョンの確認

Cisco IOS XE ソフトウェアのパッケージファイルは、システムボードのフラッシュデバイス (flash:) に保存されます。

show version 特権 EXEC コマンドを使用すると、スイッチで稼働しているソフトウェアバージョンを参照できます。



-
- (注) **show version** の出力にはスイッチで稼働しているソフトウェアイメージが常に表示されますが、最後に表示されるモデル名は工場出荷時の設定であり、ソフトウェアライセンスをアップグレードしても変更されません。
-

また、**dir filesystem:** 特権 EXEC コマンドを使用して、フラッシュメモリに保存している可能性のある他のソフトウェア イメージのディレクトリ名を表示できます。

ソフトウェアイメージ

リリース	イメージタイプ	ファイル名
Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1	CAT9K_LITE_IOSXE	cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin

ブートローダの自動アップグレード

スイッチの既存のリリースからそれよりも新しいリリースに初めてアップグレードする際、スイッチのハードウェアバージョンに基づいてブートローダが自動的にアップグレードされることがあります。ブートローダが自動的にアップグレードされた場合、次回のリロード時に有効になります。その後に以前のリリースに戻してもブートローダはダウングレードされません。更新後のブートローダは以前のすべてのリリースをサポートします。



注意 アップグレード中はスイッチの電源を再投入しないでください。

シナリオ	ブートローダの自動応答
Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 の初回起動時	ブートローダがバージョン 17.5.1r[FC4] にアップグレードされる可能性があります。次に例を示します。 <output truncated> ROM: IOS-XE ROMMON BOOTLDR: System Bootstrap, Version 17.5.1r [FC4], RELEASE SOFTWARE (P) <output truncated>

ソフトウェアインストールコマンド

ソフトウェアインストールコマンドの概要	
指定したファイルをインストールしてアクティブ化し、リロード後も維持されるように変更をコミットするには、次のコマンドを実行します。 install add file filename [activate commit] インストールファイルを個別にインストール、アクティブ化、コミット、中止、または削除するには、次のコマンドを実行します。 install ?	
add file tftp: filename	インストールファイルパッケージをリモートロケーションからデバイスにコピーし、プラットフォームとイメージのバージョンの互換性チェックを実行します。
activate [auto-abort-timer]	ファイルをアクティブ化し、デバイスをリロードします。 auto-abort-timer キーワードがイメージのアクティブ化を自動的にロールバックします。
commit	リロード後も変更が持続されるようにします。

ソフトウェアインストールコマンドの概要	
rollback to committed	最後にコミットしたバージョンに更新をロールバックします。
abort	ファイルのアクティブ化を中止し、現在のインストール手順の開始前に実行していたバージョンにロールバックします。
remove	未使用および非アクティブ状態のソフトウェアインストールファイルを削除します。

インストールモードでのアップグレード

次の手順に従い、インストールモードで、あるリリースから別のリリースにアップグレードします。ソフトウェアイメージのアップグレードを実行するには、**boot flash:packages.conf** を使用して IOS を起動する必要があります。

始める前に

この手順は、次のアップグレードのシナリオで使用できます。

アップグレード前のリリース	目的
Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.x 以前のリリース	Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x

このセクションの出力例は、**install** コマンドのみを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1 から Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 にアップグレードする場合のものです。

手順

ステップ1 クリーンアップ

install remove inactive

このコマンドを使用して、容量が不足している場合に古いインストールファイルをクリーンアップし、フラッシュに 1 GB 以上の領域を確保して、新しいイメージを展開します。

次の例は、**install remove inactive** コマンドを使用して未使用のファイルをクリーンアップした場合の出力を示しています。

```
Switch# install remove inactive
install_remove: START Mon Mar 15 17:46:18 IST 2021
Cleaning up unnecessary package files
No path specified, will use booted path flash:packages.conf
Cleaning flash:
  Scanning boot directory for packages ... done.
  Preparing packages list to delete ...
    cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k_lite-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k_lite-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k_lite-webui.17.05.01.SPA.pkg
```

```

    File is in use, will not delete.
  packages.conf
    File is in use, will not delete.
done.

The following files will be deleted:
[switch 1]:
/flash/cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin

Do you want to remove the above files? [y/n]

[switch 1]:
Deleting file flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin ... done.
SUCCESS: Files deleted.
--- Starting Post_Remove_Cleanup ---
Performing Post_Remove_Cleanup on all members
  [1] Post_Remove_Cleanup package(s) on switch 1
  [1] Finished Post_Remove_Cleanup on switch 1
Checking status of Post_Remove_Cleanup on [1]
Post_Remove_Cleanup: Passed on [1]
Finished Post_Remove_Cleanup
SUCCESS: install_remove Mon Mar 15 17:47:20 IST 2021
Switch#

```

ステップ2 新しいイメージをフラッシュにコピー

a) **copy tftp:[[/location]/directory]/filenameflash:**

このコマンドを使用して、TFTP サーバからフラッシュメモリに新しいイメージをコピーします。location は、IP アドレスまたはホスト名です。ファイル名は、ファイル転送に使用されるディレクトリの相対パスで指定します。新しいイメージを TFTP サーバから使用する場合は、このステップをスキップしてください。

```

Switch# copy tftp://10.8.0.6/image/cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin flash:

Destination filename [cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin]?
Accessing tftp://10.8.0.6//cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin...
Loading /cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin from 10.8.0.6 (via GigabitEthernet0/0):
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
[OK - 601216545 bytes]

601216545 bytes copied in 50.649 secs (11870255 bytes/sec)

```

b) **dir flash:**

このコマンドを使用して、イメージがフラッシュに正常にコピーされたことを確認します。

```

Switch# dir flash:*.bin
Directory of flash:/*.bin

Directory of flash:/

434184 -rw- 601216545 Mar 15 2021 10:18:11 -07:00 cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin
11353194496 bytes total (8976625664 bytes free)

```

ステップ3 ブート変数を設定

a) **boot system flash:packages.conf**

このコマンドを使用して、ブート変数を **flash:packages.conf** に設定します。

```
Switch(config)# boot system flash:packages.conf
```

b) **no boot manual**

スイッチを自動ブートに設定するには、このコマンドを使用します。

```
Switch(config)# no boot manual  
Switch(config)# exit
```

c) **write memory**

このコマンドを使用して、ブート設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

d) **show boot**

このコマンドを使用して、ブート変数 (packages.conf) と手動ブート設定 (no) を確認します。

```
Switch# show boot  
-----  
Switch 3  
-----  
Current Boot Variables:  
BOOT variable = flash:packages.conf;  
  
Boot Variables on next reload:  
BOOT variable = flash:packages.conf;  
Manual Boot = no  
Enable Break = yes  
Boot Mode = DEVICE  
iPXE Timeout = 0
```

ステップ 4 イメージをフラッシュにインストール

install add file activate commit

このコマンドを使用して、イメージをインストールします。

イメージをフラッシュメモリにコピーした場合は、TFTPサーバ上またはスイッチのフラッシュドライブ上のソースイメージを指定することを推奨します。

次の例は、Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1 ソフトウェアイメージをフラッシュメモリにインストールした場合の出力を示しています。

```
Switch# install add file flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin activate commit  
install_add_activate_commit: START Mon Mar 15 12:51:55 IST 2021  
Mar 15 12:51:57.795: %INSTALL-5-INSTALL_START_INFO: R0/0: install_engine: Started install  
one-shot flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bininstall_add_activate_commit: Adding  
PACKAGE  
install_add_activate_commit: Adding PACKAGE  
install_add_activate_commit: Checking whether new add is allowed ....  
  
--- Starting initial file syncing ---  
Info: Finished copying flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin to the selected switch(es)  
Finished initial file syncing  
  
--- Starting Add ---  
Performing Add on all members  
[1] Add package(s) on switch 1  
[1] Finished Add on switch 1
```



```

Checking status of Add on [1]
Add: Passed on [1]
Finished Add

Image added. Version: 17.05.01.0.276
install_add_activate_commit: Activating PACKAGE

gzip: initramfs.cpio.gz: decompression OK, trailing garbage ignored
Following packages shall be activated:
/flash/cat9k_lite-webui.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg

This operation may require a reload of the system. Do you want to proceed? [y/n]y

--- Starting Activate ---
Performing Activate on all members
Mar 15 13:03:24.337: %INSTALL-5-INSTALL_AUTO_ABORT_TIMER_PROGRESS: R0/0: rollback_timer:
Install auto abort timer will expire in 7200 seconds
[1] Activate package(s) on switch 1
--- Starting list of software package changes ---
Old files list:
  Removed cat9k_lite-rpbase.17.04.01.SPA.pkg
  Removed cat9k_lite-rpboot.17.04.01.SPA.pkg
  Removed cat9k_lite-srdriver.17.04.01.SPA.pkg
  Removed cat9k_lite-webui.17.04.01.SPA.pkg
New files list:
  Added cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k_lite-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k_lite-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
  Added cat9k_lite-webui.17.05.01.SPA.pkg
Finished list of software package changes
[1] Finished Activate on switch 1
Checking status of Activate on [1]
Activate: Passed on [1]
Finished Activate

*Mar 15 13:03:24.298 IST: %INSTALL-5-INSTALL_AUTO_ABORT_TIMER_PROGRESS: Switch 1 R0/0:
rollback_timer: Install auto abort timer will expire in 7200 seconds--- Starting Commit
---
Performing Commit on all members
[1] Commit package(s) on switch 1
[1] Finished Commit on switch 1
Checking status of Commit on [1]
Commit: Passed on [1]
Finished Commit

Install will reload the system now!
SUCCESS: install_add_activate_commit Mon Mar 15 13:04:23 IST 2021
Mar 15 13:04:24.586: %INSTALL-5-INSTALL_COMPLETED_INFO: R0/0: install_engine: Completed
install one-shot PACKAGE flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.bin

```

(注) **install add file activate commit command** を実行した後に、システムは自動的にリロードします。システムを手動でリロードする必要はありません。

ステップ5 インストールを確認

ソフトウェアのインストールが正常に完了したら、このコマンドを使用して、フラッシュパーティションに4つの新しい .pkg ファイルと2つの .conf ファイルがあることを確認します。

a) **dir flash:*.pkg**

次に、**dir flash:*.pkg** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# dir flash:*.pkg

Directory of flash:/*.pkg
Directory of flash:/
48582 -rw- 298787860 July 20 2021 05:13:32 +00:00 cat9k_lite-rpbase.17.04.01.SPA.pkg
48585 -rw- 35713901 July 20 2021 05:14:12 +00:00 cat9k_lite-rpboot.17.04.01.SPA.pkg
48583 -rw- 4252692 July 20 2021 05:13:33 +00:00
cat9k_lite-srdriver.17.04.01.SPA.pkg
48584 -rw- 8119312 July 20 2021 05:13:34 +00:00 cat9k_lite-webui.17.04.01.SPA.pkg

16640 -rw- 301188116 Mar 15 2021 05:33:25 +00:00 cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
16647 -rw- 35112025 Mar 15 2021 05:34:06 +00:00 cat9k_lite-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
16642 -rw- 4326420 Mar 15 2021 05:33:25 +00:00
cat9k_lite-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
16643 -rw- 8328208 Mar 15 2021 05:33:25 +00:00 cat9k_lite-webui.17.05.01.SPA.pkg
```

b) **dir flash:*.conf**

次に、**dir flash:*.conf** コマンドの出力例を示します。フラッシュパーティションの2つの.confファイルが表示されています。

- packages.conf : 新しくインストールした .pkg ファイルに書き換えられたファイル
- cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.conf : 新しくインストールした packages.conf ファイルのバックアップコピー

```
Switch# dir flash:*.conf

Directory of flash:/*.conf
Directory of flash:/

16631 -rw- 4882 Mar 15 2021 05:39:42 +00:00 packages.conf
16634 -rw- 4882 Mar 15 2021 05:34:06 +00:00 cat9k_lite_iosxe.17.05.01.SPA.conf
```

ステップ6 リロードしてバージョンを確認

a) **reload**

このコマンドを使用して、スイッチをリロードします。新しいイメージをブートするとブートローダは自動的に更新されますが、次にリロードされるまでは新しいブートローダバージョンは出力に表示されません。

```
Switch# reload
```

b) **show version**

イメージが起動したら、このコマンドを使用して新しいイメージのバージョンを確認します。

次の **show version** コマンドの出力例では、デバイスの Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 イメージの情報が表示されています。

```
Switch# show version
Cisco IOS XE Software, Version 17.05.01
Cisco IOS Software [Bengaluru], Catalyst L3 Switch Software (CAT9K_LITE_IOSXE),
Version 17.5.1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
```

```
Copyright (c) 1986-2021 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 15-Mar-21 19:57 by mcpre
<output truncated>
```

インストールモードでのダウングレード

ここでは、あるリリースから別のリリースにインストールモードでダウングレードする手順を示します。ソフトウェアイメージのダウングレードを実行するには、**boot flash:packages.conf** を使用して IOS を起動する必要があります。

始める前に

この手順は、次のダウングレードのシナリオで使用できます。

ダウングレード前のリリース	目的
Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x	Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.x 以前のリリース



- (注) あるリリースを搭載して新しく導入されたスイッチモデルをダウングレードすることはできません。新しいスイッチモデルが最初に搭載して導入されたリリースが、そのモデルの最小ソフトウェアバージョンです。

このセクションの出力例は、**install** コマンドを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 から Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1 にダウングレードする場合のものです。

手順

ステップ 1 クリーンアップ

install remove inactive

このコマンドを使用して、容量が不足している場合に古いインストールファイルをクリーンアップし、フラッシュに 1 GB 以上の領域を確保して、新しいイメージを展開します。

次の例は、**install remove inactive** コマンドを使用して未使用のファイルをクリーンアップした場合の出力を示しています。

```
Switch# install remove inactive
install_remove: START Mon Mar 15 17:46:18 IST 2021
Cleaning up unnecessary package files
No path specified, will use booted path flash:packages.conf
Cleaning flash:
  Scanning boot directory for packages ... done.
  Preparing packages list to delete ...
    cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k_lite-rpboot.17.05.1.SPA.pkg
      File is in use, will not delete.
    cat9k_lite-srdriver.17.05.1.SPA.pkg
```

```

File is in use, will not delete.
cat9k_lite-webui.17.05.1.SPA.pkg
File is in use, will not delete.
packages.conf
File is in use, will not delete.
done.

```

```

The following files will be deleted:
[switch 1]:
/flash/cat9k_lite_iosxe.17.05.1.SPA.bin

```

```

Do you want to remove the above files? [y/n]y
[switch 1]:
Deleting file flash:cat9k_lite_iosxe.17.05.1.SPA.bin ... done.
SUCCESS: Files deleted.
--- Starting Post_Remove_Cleanup ---
Performing Post_Remove_Cleanup on all members
  [1] Post_Remove_Cleanup package(s) on switch 1
  [1] Finished Post_Remove_Cleanup on switch 1
Checking status of Post_Remove_Cleanup on [1]
Post_Remove_Cleanup: Passed on [1]
Finished Post_Remove_Cleanup

SUCCESS: install_remove Mon Mar 15 17:47:20 IST 2021
Switch#

```

ステップ2 新しいイメージをフラッシュにコピー

a) **copy tftp:[//location]/directory/filenameflash:**

このコマンドを使用して、TFTP サーバからフラッシュメモリに新しいイメージをコピーします。**location** は、IP アドレスまたはホスト名です。ファイル名は、ファイル転送に使用されるディレクトリの相対パスで指定します。新しいイメージを TFTP サーバから使用する場合は、このステップをスキップしてください。

```

Switch# copy tftp://10.8.0.6/image/cat9k_lite_iosxe.17.04.1.SPA.bin flash:

Destination filename [cat9k_lite_iosxe.17.04.1.SPA.bin]?
Accessing tftp://10.8.0.6/cat9k_lite_iosxe.17.04.1.SPA.bin...
Loading /cat9k_lite_iosxe.17.04.1.SPA.bin from 10.8.0.6 (via GigabitEthernet0/0):
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
[OK - 508584771 bytes]
508584771 bytes copied in 101.005 secs (5035244 bytes/sec)

```

b) **dir flash:**

このコマンドを使用して、イメージがフラッシュに正常にコピーされたことを確認します。

```

Switch# dir flash:*.bin
Directory of flash:/*.bin

Directory of flash:/

434184 -rw- 508584771 Mon Mar 15 2021 13:35:16 -07:00 cat9k_lite_iosxe.17.04.1.SPA.bin
11353194496 bytes total (9055866880 bytes free)

```

ステップ3 ブート変数を設定

a) **boot system flash:packages.conf**

このコマンドを使用して、ブート変数を **flash:packages.conf** に設定します。

```
Switch(config)# boot system flash:packages.conf
```

b) **no boot manual**

スイッチを自動ブートに設定するには、このコマンドを使用します。

```
Switch(config)# no boot manual
Switch(config)# exit
```

c) **write memory**

このコマンドを使用して、ブート設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

d) **show boot**

このコマンドを使用して、ブート変数 (packages.conf) と手動ブート設定 (no) を確認します。

```
Switch# show boot
-----
Switch 3
-----
Current Boot Variables:
BOOT variable = flash:packages.conf;

Boot Variables on next reload:
BOOT variable = flash:packages.conf;
Manual Boot = no
Enable Break = yes
Boot Mode = DEVICE
iPXE Timeout = 0
```

ステップ 4 ソフトウェアイメージをダウングレード

install add file activate commit

このコマンドを使用して、イメージをインストールします。

イメージをフラッシュメモリにコピーした場合は、TFTPサーバ上またはスイッチのフラッシュドライブ上のソースイメージを指定することを推奨します。

次の例では、**install add file activate commit** コマンドを使用して Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1 ソフトウェアイメージをフラッシュにインストールしています。

```
Switch# install add file flash:cat9k_lite_iosxe.17.04.01.SPA.bin activate commit activate
commit

install_add_activate_commit: START Mon Mar 15 13:17:28 IST 2021
install_add_activate_commit: Adding PACKAGE
install_add_activate_commit: Checking whether new add is allowed ....

--- Starting initial file syncing ---
Info: Finished copying flash:cat9k_lite_iosxe.17.04.01.SPA.bin to the selected switch(es)
Finished initial file syncing

--- Starting Add ---
Performing Add on all members
 [1] Add package(s) on switch 1
 [1] Finished Add on switch 1
Checking status of Add on [1]
```

```

Add: Passed on [1]
Finished Add

Image added. Version: 17.04.01.0.203
install_add_activate_commit: Activating PACKAGE

gzip: initramfs.cpio.gz: decompression OK, trailing garbage ignored
Following packages shall be activated:
/flash/cat9k_lite-webui.17.04.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-srdriver.17.04.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-rpboot.17.04.01.SPA.pkg
/flash/cat9k_lite-rpbase.17.04.01.SPA.pkg

This operation may require a reload of the system. Do you want to proceed? [y/n]
--- Starting Activate ---
Performing Activate on all members
Mar 15 13:29:31.133: %INSTALL-5-INSTALL_AUTO_ABORT_TIMER_PROGRESS: R0/0: rollback_timer:
  Install auto abort timer will expire in 7200 seconds

*Mar 15 13:29:31.093 IST: %INSTALL-5-INSTALL_AUTO_ABORT_TIMER_PROGRESS: Switch 1 R0/0:
rollback_timer: Install auto abort timer will expire in 7200 seconds [1] Activate
package(s) on switch 1
  --- Starting list of software package changes ---
  Old files list:
    Removed cat9k_lite-rpbase.17.05.01.SPA.pkg
    Removed cat9k_lite-rpboot.17.05.01.SPA.pkg
    Removed cat9k_lite-srdriver.17.05.01.SPA.pkg
    Removed cat9k_lite-webui.17.05.01.SPA.pkg
  New files list:
    Added cat9k_lite-rpbase.17.04.01.SPA.pkg
    Added cat9k_lite-rpboot.17.04.01.SPA.pkg
    Added cat9k_lite-srdriver.17.04.01.SPA.pkg
    Added cat9k_lite-webui.17.04.01.SPA.pkg
  Finished list of software package changes
[1] Finished Activate on switch 1
Checking status of Activate on [1]
Activate: Passed on [1]
Finished Activate

--- Starting Commit ---
Performing Commit on all members
  [1] Commit package(s) on switch 1
  [1] Finished Commit on switch 1
Checking status of Commit on [1]
Commit: Passed on [1]
Finished Commit

Send model notification for install_add_activate_commit before reload
Install will reload the system now!
SUCCESS: install_add_activate_commit Mon Mar 15 13:30:52 IST 2021
Mar 15 13:30:53.573: %INSTALL-5-INSTALL_COMPLETED_INFO: R0/0: install_engine: Completed
  install one-shot PACKAGE flash:cat9k_lite_iosxe.17.04.01.SPA.bin
Mar 15 13:30:53.573 %INSTALL-5-INSTALL_COMPLETED_INFO: R0/0: install_engine: Completed
  install one-shot PACKAGE flash:cat9k_lite_iosxe.17.04.01.SPA.bin

switch3#
Chassis 1 reloading, reason - Reload command

*Mar 15 13:30:53.529 IST: %INSTALL-5-INSTALL_COMPLETED_INFO: Switch 1 R0/0: install_engine:
  Completed install one-shot PACKAGE flash:cat9k_lite_iosxe.17.04.01.SPA.bin
*Mar 15 13:30:54.526 IST: %STACKMGR-1-RELOAD: Switch 1 R0/0: stack_mgr: Reloading due
  to reason Reload command Mar 15 13:30:58.121: %PMAN-5-EXITACTION: F0/0: pvp: Process
  manager is exiting: reload fp actionrequested
Mar 15 13:31:01.303: %PMAN-5-EXITACTION: R0/0: pvp: Process manager is exiting: rp

```

```
processes exit with reload switch code
```

(注) **install add file activate commit** コマンドを実行した後に、システムは自動的にリロードします。システムを手動でリロードする必要はありません。

ステップ 5 バージョンの確認

show version

イメージが起動したら、このコマンドを使用して新しいイメージのバージョンを確認します。

(注) ソフトウェアイメージをダウングレードしても、ブートローダのバージョンはダウングレードされません。更新された状態のままになります。

次の **show version** コマンドの出力例では、デバイスの Cisco IOS XE Bengaluru 17.4.1 イメージの情報が表示されています。

```
Switch# show version
Cisco IOS XE Software, Version 17.04.01
Cisco IOS Software [Bengaluru], Catalyst L3 Switch Software (CAT9K_LITE_IOSXE), Version
 17.4.1, RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2021 by Cisco Systems, Inc.
<output truncated>
```

ライセンス

このセクションでは、Cisco Catalyst 9000 シリーズスイッチで使用可能な機能のライセンスパッケージについて説明します。

ライセンスレベル

Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチ で使用可能なソフトウェア機能は、次のように、基本またはアドオンのライセンスレベルに分類されます。

基本ライセンス

- Network Essentials
- Network Advantage : Network Essentials ライセンスで使用可能な機能と追加機能が含まれます。

アドオンライセンス

アドオンライセンスには、前提条件として Network Essentials または Network Advantage が必要です。アドオンライセンスレベルでは、スイッチだけでなく Cisco Digital Network Architecture Center (Cisco DNA Center) でもシスコのイノベーションとなる機能を得られます。

- DNA Essentials

- DNA Advantage : DNA Essentials ライセンスで使用可能な機能と追加機能が含まれます。

プラットフォームサポートに関する情報を検出し、機能を使用できるライセンスレベルを確認するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfmng.cisco.com> に進みます。cisco.com のアカウントは必要ありません。

使用可能なライセンスモデルと構成情報

- Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.1 以前 : スマートライセンスがデフォルトであり、ライセンスを管理するためにサポートされている唯一の方法です。

必要なリリースの [ソフトウェア コンフィギュレーションガイド](#) で、「**System Management**」 → 「**Configuring Smart Licensing**」を参照してください。

- Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2a 以降 : ポリシーを使用したスマートライセンス (スマートライセンスの拡張バージョン) がデフォルトであり、ライセンスを管理するためにサポートされている唯一の方法です。

必要なリリース (17.3.x 以降) の [ソフトウェア コンフィギュレーションガイド](#) で、「**System Management**」 → 「**Smart Licensing Using Policy**」を参照してください。

シスコ ライセンスの詳細については、cisco.com/go/licensingguide を参照してください。

ライセンスレベル : 使用上のガイドライン

- 購入したライセンスが有効な期間

ポリシーを使用したスマートライセンス	スマートライセンス
<ul style="list-style-type: none"> • 永久 : このライセンスは使用期限日はありません。 • サブスクリプション : ライセンスは特定の日付まで有効です。(3年、5年、または7年の期間) 	<ul style="list-style-type: none"> • 永久 : ライセンスレベル、有効期限なし。 • 有効期間付き : ライセンスレベル、3年、5年、または7年の期間。 • 評価 : 登録されていないライセンス。

- 基本ライセンス (Network Essentials および Network-Advantage) の注文および履行は、無期限または永久ライセンスタイプのみとなります。
- アドオンライセンス (DNA Essentials および DNA Advantage) の注文および履行は、サブスクリプションまたは有効期間付きライセンスタイプのみとなります。
- ネットワーク ライセンス レベルを選択した場合はアドオンライセンスレベルが含まれています。DNA の機能を使用する場合は、有効期限が切れる前にライセンスを更新して引き続き使用するか、アドオンライセンスを非アクティブ化してからスイッチをリロードして基本ライセンス機能での運用を継続します。
- 基本ライセンスとともにアドオンライセンスを購入する場合、許可されている組み合わせと、許可されていない組み合わせに注意してください。

表 1: 許可されている組み合わせ

	DNA Essentials	DNA Advantage
Network Essentials	対応	非対応
Network Advantage	可 ⁵	可

⁵ この組み合わせは DNA ライセンスの更新時にものみ購入できます。DNA-Essentials の初回購入時には購入できません。

- 評価ライセンスを注文することはできません。これらのライセンスは Cisco Smart Software Manager で追跡されず、90 日で期限切れになります。評価ライセンスはスイッチで一度だけ使用でき、再生成することはできません。評価ライセンスが期限切れになると、その後 275 日間は毎日警告システムメッセージが生成され、それ以降は毎週生成されます。リロード後に、有効期限の切れた評価ライセンスを再度アクティベートすることはできません。これはスマートライセンスにのみ適用されます。評価ライセンスの概念は、ポリシーを使用したスマートライセンスには適用されません。

スケーリングのガイドライン

機能スケーリングのガイドラインについては、次の場所にある Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチのデータシートを参照してください。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/collateral/switches/catalyst-9200-series-switches/nb-06-cat9200-ser-data-sheet-cte-en.html

制限事項

- コントロールプレーンポリシング (CoPP) : `system-cpp policy` で設定されたクラスがデフォルト値のままの場合、それらのクラスに関する情報は `show run` コマンドで表示されません。代わりに、特権 EXEC モードで `show policy-map system-cpp-policy` または `show policy-map control-plane` コマンドを使用してください。
- ハードウェアの制限事項
 - 管理ポート : イーサネット管理ポート (GigabitEthernet0/0) で設定されているポート速度、デュプレックスモード、フロー制御を変更して自動ネゴシエーションを無効にすることはできません。ポート速度とデュプレックスモードは、ピアポートからのみ変更できます。
 - ネットワークモジュール : Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチの C9200 SKU に C9200-NM-4X ネットワークモジュールが接続されている場合、ネットワークモジュールがスイッチで認識されるまでアップリンクインターフェイスはダウン状態になります。スイッチでネットワークモジュールが認識されるまでの時間は、相互接続された他のデバイスが認識されるまでの時間よりも長くなります。

- Catalyst 9200L スイッチの 10 G ポートに接続されている 1 m および 1.5 m の 10 GBase CX1 ケーブルが、Catalyst 9200L または Catalyst 9200 スイッチの 10 G ピアポートに接続されている場合、ローカルデバイスを再起動すると、リンクフラッピングが原因でピアデバイスが **error-disabled** 状態になることがあります。回避策として、**error-disabled** ピアインターフェイスで **shut** および **no shut** コマンドを実行します。
- メモリリーク：ロギング識別子を設定してデバイスに適用している場合、大量の **syslog** またはデバッグ出力によってメモリリークが発生します。リークのレートは生成されるログの量に依存します。極端なケースでは、デバイス障害が発生することもあります。これを回避するには、デバイスでロギング識別子を無効にします。
- QoS の制約事項
 - QoS キューイングポリシーを設定する際は、キューイングバッファの合計が 100% を超えないようにしてください。
 - 論理インターフェイスで QoS ポリシーがサポートされるのは、スイッチ仮想インターフェイス (SVI) のみです。
 - ポートチャネルインターフェイス、トンネルインターフェイス、およびその他の論理インターフェイスでは QoS ポリシーはサポートされません。
- セキュア シェル (SSH)
 - SSH バージョン 2 を使用してください。SSH バージョン 1 はサポートされていません。
 - SCP および SSH の暗号化操作の実行中は、SCP の読み取りプロセスが完了するまで、デバイスの CPU が高くなることが想定されます。SCP は、ネットワーク上のホスト間でのファイル転送をサポートしており、転送に SSH を使用します。

SCP および SSH の操作は現在はハードウェア暗号化エンジンでサポートされていないため、暗号化と復号化のプロセスがソフトウェアで実行されることで CPU が高くなります。SCP および SSH のプロセスによる CPU 使用率が 40 ~ 50% になる場合がありますが、デバイスがシャットダウンされることはありません。
- スタック
 - スタックは、Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチでサポートされています。最大 8 つのスタックメンバでスイッチスタックを構成できます。ただし、C9200 SKU と C9200L SKU を同じスタックに含めることはできません。

サポートされるスタック帯域幅は、C9200L SKU では最大 80Gbps、C9200 SKU では最大 160Gbps です。
 - C9200-24PB および C9200-48PB スイッチモデルは、Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチの他のモデルではなく、相互にのみスタックできます。
 - 新しいメンバスイッチの自動アップグレードは、インストールモードでのみサポートされます。

- TACACS レガシーコマンド：レガシー **tacacs-server host** コマンドを設定しないでください。このコマンドは廃止されました。デバイス上で実行されているソフトウェアバージョンが Cisco IOS XE Gibraltar 16.12.2 以降のリリースである場合、レガシーコマンドを使用すると認証が失敗する可能性があります。グローバル コンフィギュレーション モードで **tacacs server** コマンドを使用する。
- USB の認証：Cisco USB ドライブをスイッチに接続すると、既存の暗号化事前共有キーでドライブの認証が試行されます。USB ドライブからは認証用のキーが送信されないため、**password encryption aes** コマンドを入力するとコンソールに次のメッセージが表示されません。

```
Device(config)# password encryption aes
Master key change notification called without new or old key
```
- YANG データモデリングの制限事項：サポートされる NETCONF の最大同時セッション数は 20 セッションです。
- Embedded Event Manager：ID イベントディテクタは、Embedded Event Manager ではサポートされていません。

注意事項

警告では、Cisco IOS-XE リリースでの予期しない動作について説明します。以前のリリースでオープンになっている警告は、オープンまたは解決済みとして次のリリースに引き継がれます。

Cisco Bug Search Tool

Cisco [Bug Search Tool](#) (BST) を使用すると、パートナーとお客様は製品、リリース、キーワードに基づいてソフトウェアバグを検索し、バグ詳細、製品、バージョンなどの主要データを集約することができます。BST は、ネットワーク リスク管理およびデバイスのトラブルシューティングにおいて効率性を向上させるように設計されています。このツールでは、クレデンシャルに基づいてバグをフィルタし、検索入力に関する外部および内部のバグビューを提供することもできます。

問題の詳細を表示するには、ID をクリックします。

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.x の未解決の問題

ID	説明
CSCvx58145	9200L：EEM がスタックスイッチオーバーのタイミングで動作しない

Cisco IOS XE Bengaluru 17.5.1 の解決済みの不具合

ID	説明
CSCvt73622	9200L : ポートがブートアップ/リロード/スイッチオーバー後にリンクフラップエラーで ERR_DISABLE 状態になる
CSCvw08075	C9200L : ケーブルの接続/切断を繰り返してもポートが down/down のままになる
CSCvw50091	C9200/9200L : ブートアップ後のリンクアップ検出遅延

トラブルシューティング

トラブルシューティングの最新の詳細情報については、次の URL にある Cisco TAC Web サイトを参照してください。

<https://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

[Product Support] に移動し、リストから製品を選択するか、製品の名前を入力します。発生している問題に関する情報を見つけるには、[Troubleshoot and Alerts] を参照してください。

関連資料

Cisco IOS XE 16 に関する情報は、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/c/en/us/products/ios-nx-os-software/ios-xe/index.html>

Cisco Catalyst 9200 シリーズスイッチのすべてのサポートドキュメントは、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/catalyst-9200-r-series-switches/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Validated Designs ドキュメントは、次の URL から入手できます。 <https://www.cisco.com/go/designzone>

選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。

<http://www.cisco.com/go/mibs>

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#) にアクセスしてください。

- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco バグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.